

▶5日 発言

「災害転じて福となる」

震災復興で協定

今月十七日で阪神・淡路大震災から十二年を迎えますが、当時は震災後のまちづくりの上で土地や家屋の複雑な権利調整に時間を要したために、再開発事業などが進まずに、まだに空き地のままの地域も残っています。そういったことをかんがみ、被災後に都民が迅速

に住宅を再建できるように、専門家が不動産に関する法律相談や助言を行う協定を、東京弁護士会や建築家協会など十四団体と締結することになりました。災害が転じて福となると言ったら大げさですが、それをきっかけに、もっと住みよい安全な町になるような復興を可能にすると思います。

——羽田空港の再拡張事業で、二〇〇九年末の竣工目標を疑問視する見方が多い。もう一本の滑走路をつくるというところまでは、東京圏全体も考えて、亀井静香君が（自民党）政調会長の時に二人で乱暴な方法を使って国交省を追い込んだんですけれども。これは国家の利益にかかわることですから、少し急いで予定の期日に間に合うように完成してもらいたいと思っています。わたしたちの出る幕じゃなくて国のマターだと思えますし、空のアクセスをいまだに三十数カ国が足踏みして待っているのは、これだけの経済大国に似つかわしくないこと。一刻も早く二十四時間体制で国際化するのには必要だと思いません。